



天満宮

題字／後西天皇御宸筆

季刊
春号

平成27年4月
Vol.6

特集

- ◆ 彬子女王殿下御成り「御花神饌」を奉献
- ◆ 樹齢三〇〇年 飛梅伝承の御神木「紅和魂梅」を後世に
シリーズ「天神と日本のこころ」第二回
- ◆ 「日本人と縄文の心」—— 日本文化の中の文化的遺伝子——

國學院大學名誉教授 小林 達雄



京とうふ藤野

とうふちやしつ 十富茶室を奉納



境内神域の梅が見頃を迎えた三月十一日、当宮門前町で豆腐店を営む「京とうふ」藤野株式会社（代表取締役 藤野清治氏）が、この度「折畳席十富茶室」を奉納され、御本殿にて奉納奉告祭齋行した。京とうふ藤野は昭和三十九年の創業、北野天満宮門前に本店を構え、現在京都市内に六店舗を経営する老舗の京とうふ屋さんとして知られる。

当宮が天正年間に太閤秀吉公が催した大茶会「北野大茶湯」の地であり、お茶に縁が深く、茶文化を今に受け継ぐ神社であることから、「是非とも天神さんにお納めしたい」との想いにより奉納の運びとなった。

当日は、代表取締役 藤野清治氏をはじめ関係者五名が参列。藤野氏が神前に玉串を捧げた。祭典後、拜殿にて橘宮司より感謝状を交付し、この度の奉納にあたり謝意を述べた。今後この茶室を北野天満宮で催す様々な文化行事に活用していく予定である。



感謝状贈呈



玉串拝礼



十富茶室外観